

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)

【公開番号】特開 2003-226099 (P2003-226099A)
 【公開日】平成 15 年 8 月 12 日 (2003.8.12)
 【出願番号】特願 2002-24719 (P2002-24719)
 【国際特許分類第 7 版】

B 4 4 F 1/06

B 4 1 M 3/06

【 F I 】

B 4 4 F 1/06

B 4 1 M 3/06 C

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 5 月 12 日 (2004.5.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 3 4 】

さらに、虚像現出装飾体 1 を目視する方向を Y 方向 (図 2 参照) に保持した状態で前記虚像 2 4 を目視する位置を前記画素行 1 5 であった各画素列上に配置される画素の並び (一方の画素の並び) に対して略平行に移動させた場合、即ち、目視する方向 (Y 方向) に対して略平行方向に移動させた場合には、当該画素行 1 5 であった各画素列上に配置される画素 7 の並びの各画素 7 が基本画素 1 8 から順に該画素 7 の中心を支点として同じ回転角を累積する回転パターンにて一方向に回転するように形成されているため、虚像 2 4 を目視する位置を Y 方向 (図 2 参照) に移動させた場合には、虚像 2 3 が、図 9 の (a) に示すように、僅かに Y 方向と反対方向 (図 9 の (a) 中、矢印方向) に移動しながら移動する方向に位置する各画素 7 の回転に合わせて該虚像 2 4 の中心を支点として回転するように動いて見え、虚像 2 4 を目視する位置を Y 方向と反対方向 (図 2 参照) に移動させた場合には、虚像 2 4 が、図 9 の (b) に示すように、僅かに Y 方向 (図 9 の (b) 中、矢印方向) に移動しながら移動する方向に位置する各画素 7 の回転に合わせて該虚像 2 4 の中心を支点として回転するように動いて見える。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 6 2 】

さらに、虚像現出装飾体 3 4 を目視する方向を X 方向 (図 1 5 参照) に保持した状態で前記虚像 3 7 を目視する位置を各画素行 1 5 上に配置される画素 7 の並び (一方の画素の並び) に対して略平行に移動させた場合 (図 1 7 の (b) 参照) には、各画素行 1 5 上に配置される画素 7 の並びの各画素 7 が該画素 7 の中心を支点として基本画素 1 8 から順に同じ回転角を累積する回転パターンにて一方向に回転するように形成されているため、虚像 3 7 を目視する位置を Y 方向 (図 1 5 参照) に移動させると、虚像 3 7 が、図 2 0 の (a) に示すように、僅かに Y 方向 (図 2 0 の (a) 中、矢印方向) に移動しながら移動する方向に位置する各画素 7 の回転に合わせて該虚像 3 7 の中心を支点として回転するように動いて見え、虚像 3 7 を目視する位置を Y 方向と反対方向 (図 1 5 参照) に移動させ

ると、虚像 3 7 が、図 2 0 の (b) に示すように、僅かに Y 方向と反対方向 (図 2 0 の (b) 中、矢印方向) に移動しながら移動する方向に位置する各画素 7 の回転に合わせて該虚像 3 7 の中心を支点として回転するように動いて見える。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 9 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 9 8】

本実施の形態に係る虚像現出装飾体 5 4 を X 方向 (図 3 3 参照) から目視した状態で目視する位置を基準画素 1 0 の真上に固定して目視した場合には、X 方向に対して平行な基準画素列 1 1 と等距離にある一組の他の画素列 1 2 , 1 2 が該各他の画素列 1 2 , 1 2 に対応する平凸レンズ状集光素列 1 3 , 1 3 に対して基準画素列 1 1 を中心軸として内側へ向かってずれていると共に、基準画素列 1 1 より外側の他の画素列 1 2 , 1 2 ほどずれる幅が大きくなっているため、図 3 5 の (a) に示すように、画素 5 5 の形状を変形した拡大された虚像 5 7 が基準画素 1 0 を中心として平凸レンズ状集光素層 3 の奥 (下方) に沈んで見える。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 0 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 0 0】

次に、虚像現出装飾体 5 4 を目視する方向を変更して Y 方向 (図 3 3 参照) から目視した状態で目視する位置を基準画素 1 0 の真上に固定して目視した場合には、図 3 3 に示すように、X 方向より目視した場合における画素列 1 2 が画素行となり、画素行 1 5 が画素列となり、基準画素列 1 1 が基準画素行となり、基準画素行 1 4 が基準画素列となり、平凸レンズ状集光素列 1 3 が平凸レンズ状集光素行となり、平凸レンズ状集光素行 1 6 が平凸レンズ状集光素列となり、画素行 1 5 であった画素列と平凸レンズ状集光素行 1 6 であった平凸レンズ状集光素列及び画素列 1 2 であった画素行と平凸レンズ状集光素列 1 3 であった平凸レンズ状集光素行は、X 方向より目視した場合における画素列 1 2 と平凸レンズ状集光素列 1 3 及び画素行 1 5 と平凸レンズ状集光素行 1 6 の位置関係と同様の位置関係にあるため、図 3 5 の (b) に示すように、画素 5 5 の形状を変形した拡大された虚像 5 9 が基準画素 1 0 を中心として平凸レンズ状集光素層 3 の奥 (下方) であって前記虚像 5 7 の高さ位置よりも下方の高さ位置に深く沈んで見える。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 0 1】

なお、虚像現出装飾体 5 4 を X 方向から目視した場合に現出する虚像 5 7 (図 3 5 の (a) 参照) よりも Y 方向から目視した場合に現出する虚像 5 9 (図 3 5 の (b) 参照) の方が下方の高さ位置に深く沈んで現出するのは、X 方向から目視した場合において、基準画素列 1 1 を中心として一定距離にある平凸レンズ状集光素列 1 3 に対応する画素列 1 2 が該平凸レンズ状集光素列 1 3 に対してずれる幅よりも、基準画素行 1 4 を中心として一定距離にある平凸レンズ状集光素行 1 6 に対応する画素行 1 5 が該平凸レンズ状集光素行 1 6 に対してずれる幅の方が小さいためである。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 1 0 9

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 1 0 9 】

さらに、虚像現出装飾体 6 0 を目視する方向を X 方向（図 3 7 参照）に保持した状態で前記虚像 6 2 を目視する位置を各画素行 1 5 上に配置された画素 5 5 の並び（一方画素の並び）に対して略平行に移動させた場合には、各画素行 1 5 上に配置される画素 5 5 の並びの各画素 5 5 が該画素 5 5 の中心を支点として基本画素 5 8 から順に同じ回転角を累積する回転パターンにて一方向に回転するように形成されているため、虚像 6 2 が、図 4 0 の（a）に示すように、目視する位置を移動させた方向と反対方向に僅かに移動しながら移動する方向に位置する各画素 5 5 の回転に合わせて該虚像 6 2 の中心を支点として回転するように動いて見える。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 1 1 0

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 1 1 0 】

次に、虚像現出装飾体 6 0 を目視する方向を変更して Y 方向（図 3 7 参照）から目視した状態で目視する位置を基準画素 1 0 の真上に固定して目視した場合には、図 3 7 に示すように、X 方向より目視した場合における画素列 1 2 が画素行となり、画素行 1 5 が画素列となり、基準画素列 1 1 が基準画素行となり、基準画素行 1 4 が基準画素列となり、平凸レンズ状集光素列 1 3 が平凸レンズ状集光素行となり、平凸レンズ状集光素行 1 6 が平凸レンズ状集光素列となり、画素行 1 5 であった画素列と平凸レンズ状集光素行 1 6 であった平凸レンズ状集光素列及び画素列 1 2 であった画素行と平凸レンズ状集光素列 1 3 であった平凸レンズ状集光素行は、X 方向より目視した場合における画素列 1 2 と平凸レンズ状集光素列 1 3 及び画素行 1 5 と平凸レンズ状集光素行 1 6 の位置関係と同様の位置関係にあるので、図 3 9 の（b）に示すように、画素 5 5 の形状を変形した拡大された虚像 6 3 が基準画素 1 0 を中心として平凸レンズ状集光素層 3 の手前（上方）であって前記虚像 6 2 の高さ位置よりも下方の高さ位置に浮いて見える。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 1 2 1

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 1 2 1 】

本実施の形態に係る虚像現出装飾体は、透明基板 4 からなる透明基板層 5 と、該透明基板層 5 の表面に前記実施の形態 1 と同様にして積層された平凸レンズ状集光素層 3 と、図 4 4 に示すように、平凸レンズ状集光素層 3 を形成した紗体の線数を超える線数からなる紗体を形成する紗線によってできる升目を単位として該升目のピッチと同一ピッチで画素 7 が多数縦横に整列させた画素配置にパーソナルコンピュータにて編集処理アプリケーションを用いて前記実施の形態 1 と同様に編集処理を施し、さらに、前記実施の形態 8 と同様に編集処理を施した後、前記実施の形態 1 と同様にして透明フィルム 6 に各画素 7 を形成してなる画素層とから構成されており、平凸レンズ状集光素層 3 が形成されていない透明基板層 5 の片面に、図 4 3 に示すように、画素層を該画素層における基本画素列 6 4 と平凸レンズ状集光素層 3 における平凸レンズ状集光素列 6 7 とが平行になるように配置すると共に、平凸レンズ状集光素 2 と画素 7 とが上下において最も重なる基準集光素 9 と基準画素 1 0 とからなる組を有するように配置し、基準集光素 9 を中心とする対角線上の等距離にある他の平凸レンズ状集光素 2 a , 2 b に対応する位置にある他の画素 7 a , 7 b が該他の平凸レンズ状集光素 2 a , 2 b に対して基準集光素 1 0 を中心として点対称位置

に横ずれして放射状に内側に向かってずれており、かつ、基準画素 9 より外側の他の画素 7 ほどずれる幅が大きくなるように積層したものである。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 1】

